



平成30年11月9日

各 位

会 社 名 リバーエレテック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男  
(JASDAQ コード:6666)  
問合せ先 執行役員総務本部長 大柴 公基  
(TEL. 0551-22-1211)

### 営業外収益（為替差益）の計上、平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び剰余金の配当（中間無配）に関するお知らせ

当社は、平成31年3月期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）において、営業外収益（為替差益）を計上するとともに、平成30年5月11日に公表しました平成31年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成30年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を無配とすることを決定いたしましたので併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 営業外収益（為替差益）の計上について

平成31年3月期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）において為替差益28百万円を営業外収益に計上いたしました。

これは当社グループが保有する主として外貨建債権債務の評価替えに伴い発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

#### 業績に与える影響

上記営業外収益（為替差益）の計上による業績への影響等については、本日（平成30年11月9日）公表の「平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照下さい。

#### 2. 平成31年3月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,451	百万円 △40	百万円 △56	百万円 △59	円 銭 △8.10
実績値（B）	1,967	△395	△383	△392	△53.20
増減額（B－A）	△483	△354	△326	△332	
増減率（%）	△19.7	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成30年3月期第2四半期）	2,243	△186	△209	△212	△28.83

#### 差異が生じた理由

水晶製品事業においてスマートフォン向け主要取引先からの受注伸び悩みや為替レートが想定より円高に推移した影響等を受け、売上高は当初の予想と比べ、大幅な減収となりました。

営業利益は固定費圧縮等のコスト削減に努めましたが、大幅減収による影響をカバーしきれず、当初の予想と比べ減益となりました。また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は為替差益や退職特別加算金の計上等により、当初の予想と比べそれぞれ減益となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では平成30年5月11日に公表しました業績予想に変更はありませんが、本日公表の「経営合理化の取り組みに関するお知らせ」にあるとおり、平成31年3月期の連結業績について精査をしている状況であり、判明次第、速やかに公表いたします。

### 3. 剰余金の配当（中間配当）について

#### 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成30年5月11日公表)	前期実績 (平成30年3月期中間)
基準日	平成30年9月30日	同左	平成29年9月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

#### 修正の理由

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題とし、これに加え、連結業績及び配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。第2四半期末につきましてはこれら基本方針を踏まえ、これまで未定としておりました配当予想を、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

なお、期末配当予想につきましては、引き続き「未定」とさせていただきますが、当社の配当方針を基本に業務運営を進め、今後、予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

#### (ご参考)

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期	期末	年間
配当予想	—	未定	未定
当期実績（平成31年3月期）	0円00銭	—	—
前期実績（平成30年3月期）	0円00銭	0円00銭	0円00銭

以上